

桑都文化を、語り継ぐ

おさだ

～都内唯一の養蚕農家・八王子長田養蚕～

「桑都」と呼ばれる八王子市。江戸時代の頃から養蚕が盛んで、戦前までは養蚕農家も多数見られました。都内で唯一の養蚕農家となった八王子長田養蚕は、夫婦で伝統的な養蚕技術を受け継ぎながら、繭商品を「道の駅八王子滝山」他で販売したり、子どもたちの繭の飼育体験授業を通じて、「いのち」の意義と桑都文化を丁寧に語り継いできました。



桑都・八王子を感じてみませんか？

桑都を体感できる企画もさまざま！
日本遺産Festival in 桑都・八王子



11月4日（土）～5日（日）に開催されるフェスティバルに関連し、八王子駅周辺では「桑都」の伝統文化を感じられる催しが多数開催されます。

※詳細は、以下のQRコード先のサイトをご覧ください。



桑都・八王子のルーツを探る
広報紙「SUPPORT802」108号
八王子でつながる二人の偉人（後編）



ドイツの考古学者ハイインリヒ・シュリーマンが辿った足取りを、創価大学桑都プロジェクトが追う。その取り組みを特集しました。

※以下のQRコードから、PDFファイルでバックナンバーをご覧いただけます。



養蚕を通じて「いのち」と向き合う その営みを伝えたい

～八王子長田養蚕 長田誠一さんに聞く～

八王子はかつて養蚕が盛んで生糸や絹織物で名を馳せており、江戸時代後期には「桑都」と呼ばれていました。その伝統を脈々と受け継いでいるのが八王子市加住町にある「八王子長田養蚕」。代表の長田誠一（52）さんは長田家12代目、養蚕農家を生業にした先祖からは5代目です。現在では都内ただ一軒の養蚕農家となってしまいました。



▲養蚕農家5代目として奮闘する、長田誠一さん。
おさだ

19歳の時、学校卒業直後に父親が亡くなりました。幼い頃より父に「おめえがこの家を継ぐんだぞ」と聞かされていたのでその言葉を思い出し、決まっていた就職を断って養蚕農家を継ぐことを決意。祖父と母親に養蚕を一から教わりました。10年後に結婚し、以後夫婦で力を合わせ養蚕に励んできました。

最初は3令（※蚕の成長段階を令で表す）まで育った状態の蚕を仕入れて育てていましたが、長田さんが30代半ばの頃に、コスト削減のため、卵を取り寄せて自家で孵化させて飼育するようになったとのこと。

「卵から孵化させて糸を吐く（繭になる）まで約一ヶ月。春に4万5千頭、秋に3万頭を飼育しています。幼虫期は2時間おきにエサの桑葉を食べさせます。温度は27~28°C、湿度70%で管理しています。非常に多くの蚕ですが、育ち上げを揃わせるのがとても大事のことでした。ちなみに長田さんのところには約50アールの桑畠があり、エサは全て自前で調達しています。作った繭は岡谷市の製糸工場へ、加工品は道の駅「八王子滝山」に出荷しています。

長田さんがいま、力を入れているのが子どもたちの蚕の飼育体験です。小学校3年生から総合学習で蚕を取り上げますが、指導依頼が次々に舞い込みます。

「今年は4月だけで15~16校に出向きました」。希望があれば大日本蚕糸会から無償提供される卵を学校に配布し、2令までは先生に飼育してもらい、それ以降は子どもたちにバトンタッチしても良い、という方式で進めているそうです。最後、作った繭で糸繰りしたり繭人形を作って楽しめます。

長田さんは蚕を通じ、子どもたちにいつもしっかりと伝えていることがあります。それは「命を頂く」ということの意義と感謝です。実は、蚕は繭の中でさなぎになった段階で取り出します。成虫になって繭を破つて出て来てしまうと繭はもう使えなくなるからです。取り出したさなぎはすぐ冷凍庫に入れ、後日取り引きのある養鯉場に送って錦鯉のエサとして使用されます。そもそも蚕は、絹の生産のために野生のガ（蛾）を数千年の時間をかけて家畜化した昆虫。成虫になってしまっても飛べず、人間の管理なしでは生きることができません。長田さんは「蚕は家畜。食べる家畜や生活に役立てる家畜など、家畜とは？命を頂くとは？と子どもたちに問いかけます」。時には道徳の授業のようになることもあるそうです。



▲宇津木台小学校の小学3年生の飼育体験学習の様子。
(写真提供：八王子市立宇津木台小学校 宇野賢悟校長)

長田さんのこれから展望は、敷地内に「体験施設」を作ること。そこでは、養蚕体験はもとより、シルクパウダーを作ったり、かまどで米を炊くなどの昔の人の暮らしの再現など、興味ある体験を子どもたちに提供できる場にしたいと夢は膨らみます。都内唯一の養蚕農家ですが、「実は三男（小3）が継ぐとヤル気を出しているんですよ」と長田さんは顔をほころばせます。2022年・第4回八王子おやこ川柳コンクールで、なんと三男が継承の思いを詠んで、児童の部で市長賞を受賞したのです。その句は「とうきょうの ようさんのうかは ぼくがやる」。たのもしい親子です。

八王子長田養蚕の情報はSNSから！



Facebook



X (旧Twitter)

はちコミねっとイベント・講座情報

こちらのQRコードよりご覧ください
詳細は、主催団体に直接お問合せください



はちコミねっと助成金情報

こちらのQRコードよりご覧ください
詳細は、実施団体に直接お問合せください



八王子コミュニティ活動応援サイト はちコミねっと



八王子市市民活動支援センター
TEL 0429-6446-1570 fax 0429-6446-1500
〒192-0083 八王子市旭町12番1号 フジタビル5階
http://hachikomi.genki365.net/
npo802_s@encenter.hachioji.org

ちょっと
お知らせ

利用当日の会議室のご案内が 新しくディスプレイ表示になりました

画面は支援センターの
入口とフリースペースに
置いてあるよ

その日一日の利用
状況も確認できる
わね



八王子コミュニティ活動応援サイト
「はちコミねっと」

<http://hachikomi.genki365.net/>
※右のQRコードからもアクセスできます。



SUPPORT802
バックナンバーはこちらから



<https://www.shiencenter.hachioji.org/>
<http://hachikomi.genki365.net/>

開館時間 10時～21時
休館 日・祝は17時まで
月曜日 祝日の場合は翌火曜日
指定管理者 特定非営利活動法人八王子市民活動協議会

広報紙 SUPPORT802

- ◆発行日：奇数月1日(年6回発行)
- ◆発行元：八王子市市民活動支援センター
- ◆発行部数：4500部/回

◆配布場所：

八王子市役所、市内各市民センター、
市民部事務所、図書館、体育館
子ども家庭支援センター

あなたのまちを、
あるけるまち。
八王子

